

# フォレストニュース

植林が地球を救う

平成31年(2019)4月15日

No. 136

発行 高津啓洋



◎私は、本物が好きだ。木を植えることは、命を植えること、明日を植えること。だから、本来は、行政が木を植えないといけない。本物の木を植えよ。本物の木を植えることは、小手先では出来ない。だから、行政は、本物に金をかけよ。

◎森を支えているのは、本物の親分の木と、その下の子分の低木や草である。世界の歴史を見ても、放牧は森を破壊

するがん凶である。現場・現場・現場。現場には、研ぎ澄まされた自然発生的なかすかな情報がある。

## レダに咲く花

レダに植樹をいただいた中で、今ゴールデンシャワーの黄色が、ジャカラダの紫が綺麗に咲いています。



4月14日神奈川県秦野市で行われた上記植樹祭に「NPO地球の緑を守る会」から8人が参加しました。

ご存じの様に、当会顧問でいらっしゃる「宮脇昭」先生は、脳梗塞で倒れられ約4年ぶりに植樹祭参加され、大きなお声で参加者を激励・指導されました。

400名弱の参加者で、タブノキ、シイ、シラカシ他12種類3000本を植樹しました。

当植樹祭は環境省「つなげよう、支えよう森里川海」の協賛事業として秦野市で行われ、秦野市長、環境省、国交省関係者、出雲大社他協賛各企業が参席、盛大に開催されました。(大滝記)

宮脇先生は8人の一人一人と固い握手をされました。大滝千葉支部長も宮脇先生と固い握手、「先生の握手は本当に力強いもので、うれしくなりました」と感想を述べていました。

【宮脇語録】いろいろな講演会で話されたものの一部を使わせていただきました。

◎私たち人間が、今生きていることは奇跡である。今大事なことは、本物が偽物かを見極めること。言い換えれば、毒を排除すること。そして、今生きていることを大事にするためには、心・命・遺伝子を守る森を造ること。

◎生物社会は、互いに「がまん」をし合って生きている。共生するということが、仲良しクラブのように生きていくことではない。少々嫌な相手でも、気に入らないことがあっても、がまんをして生きていくこと。がまんのできない生物は、この地球上では、生きていけない。



【お知らせ】 7月27日(土) 国立オリンピック青少年センターで、夏の1日セミナーを開きます。参加希望を募っています。



# フォレストニュース

植林が地球を救う

平成31年(2019)4月15日

No. 136

発行 高津啓洋



4月14日神奈川県秦野市で行われた上記植樹祭に「NPO地球の緑を守る会」から8人が参加しました。

ご存じの様に、当会顧問でいらっしゃる「宮脇昭」先生は、脳梗塞で倒れられ約4年ぶりに植樹祭参加され、大きなお声で参加者を激励・指導されました。

400名弱の参加者で、タブノキ、シイ、シラカシ他12種類3000本を植樹しました。

当植樹祭は環境省「つなげよう、支えよう森里川海」の協賛事業として秦野市で行われ、秦野市長、環境省、国交省関係者、出雲大社他協賛各企業が参席、盛大に開催されました。(大滝記)



一面に植樹しました

宮脇先生は8人の一人一人と固い握手をされました。大滝千葉支部長も宮脇先生と固い握手、「先生の握手は本当に力強いもので、うれしくなりました」と感想を述べていました。

【宮脇語録】いろいろな講演会で話されたものの一部を使わせていただきました。

◎私たち人間が、今生きていることは奇跡である。今大事なことは、本物が偽物かを見極めること。言い換えれば、毒を排除すること。そして、今生きていることを大事にするためには、心・命・遺伝子を守る森を造ること。

◎生物社会は、互いに「がまん」をし合って生きている。共生するということが、仲良しクラブのように生きていくことではない。少々嫌な相手でも、気に入らないことがあっても、がまんをして生きていくこと。がまんのできない生物は、この地球上では、生きていけない。

◎私は、本物が好きだ。木を植えることは、命を植えること、明日を植えること。だから、本来は、行政が木を植えないといけない。本物の木を植えよ。本物の木を植えることは、小手先では出来ない。だから、行政は、本物に金をかけよ。

◎森を支えているのは、本物の親分の木と、その下の子分の低木や草である。世界の歴史を見ても、放牧は森を破壊

するがん凶である。現場・現場・現場。現場には、研ぎ澄まされた自然発生的なかすかな情報がある。

## レダに咲く花

レダに植樹をいただいた中で、今ゴールデンシャワーの黄色が、ジャカラダの紫が綺麗に咲いています。



植樹園のゴールデンシャワー

【お知らせ】 7月27日(土) 国立オリンピック青少年センターで、夏の1日セミナーを開きます。参加希望を募っています。